

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年03月11日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

NUBIC管理番号:	2011000060	整理番号	11666	担当者	井上 典之
表 題	アスファルト含有廃棄物からアスファルトと骨材等を分別して回収するリサイクル技術				
技術分野	土木・建築	機械・加工			
適用製品	アスファルト含有廃棄物(アスファルト舗装発生材など)				
目 的	<ul style="list-style-type: none"><li>・アスファルト含有廃棄物再材料化技術の簡素化、省エネルギー化、省スペース化</li><li>・アスファルト含有廃棄物の再材料化及び再利用に伴う低炭素化</li><li>・アスファルト含有廃棄物が有するアスファルトの有効活用</li><li>・アスファルト含有廃棄物が有する骨材等の持続的利用</li></ul> また、本技術の応用成果として以下が期待できる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・再生アスファルト混合物の高品質化</li><li>・有害物質等で汚染されたアスファルト含有廃棄物の除染・浄化</li></ul>				
技術概要	<p>本技術は、アスファルト含有廃棄物からアスファルトと骨材等を分別して回収するリサイクル技術であり、熱水中での加熱・攪拌によって連続的に解砕、分離、分別、分級するシステムを提案している。なお、本技術によって分別回収した骨材等は、放冷と同時に自然乾燥し、含水比が0.5%以下の状態で回収される。</p> <p>例えば、アスファルト舗装発生材を対象とした場合、新規骨材と同様にアスファルトが被膜しない状態で骨材を回収できるため、適切な品質管理のもと、持続的な利活用が可能となる。また、アスファルトはほぼ同質量の細粒分を含有したファイラー・ビチューメンの状態で回収され、アスファルト混合物に再利用する際は新規アスファルトや添加材等との混合が容易に、かつ均一に行える。</p> <p>さらに、応用技術として、有害物質等によって汚染されたアスファルト含有廃棄物から骨材を分別回収することにより、90%の減容化と再材料化が可能となる。</p>				

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時					
(ふりがな)					
氏 名					
会社名					
所 属		役職			
電話番号		FAX番号			
E-mail					
連絡事項					



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp